



SESERAGI—MISHIMA ROTARY CLUB WEEKLY REPORT

クラブ
週 報

2021～2022年度 RI会長 シェカール・メータ

RIテーマ

奉仕しよう みんなの人生を豊かにするために

クラブテーマ「会員の健康と地域リーダーの育成、
そしてロータリーの基本、規律を大切に」

会長 米山晴敏 幹事 仲原実圭

第1503回 例会

2022.6.24(金)晴

司会：田村康晃君

ロータリーソング「それでこそロータリー」指揮：原兄多君

事務所 三島市泉町9-8 1F南

TEL.055-976-6351 FAX.055-976-6352

<http://www.seseragi-mishima-rc.gr.jp>

せせらぎ三島ロータリークラブ

検索

例会場 呉竹

TEL.055-975-3210

毎週金曜日 第1・第3 夜間例会

会長挨拶

会長 米山晴敏君

今年度、最後の挨拶になりました。

1年間、会長をやらせて頂きまして、ありがとうございました。

今年度のテーマ『健康と育成』でした。1人の仲間を失うことも無く、1人の退会者も出なかった事で、今ホッとしています。

育成については、育成するつもりが、優秀な人達ばかりで、逆に私が育成して貰いました。

社会奉仕委員会には複数のクラブとの合同奉仕をやって欲しいと提案しました。委員会からは、5ロータリークラブの協賛と4市町後援の企画案を出されて、凄いなと思いました。

子供達の笑顔、お母さんの泣きながらのお礼の挨拶には、協賛した、4クラブの会長さんからお礼の言葉をもらいました。

未来3035委員会と親睦委員会にはチューリップとカスミ草を植えて、育て、医療従事者に花束を贈ろうと提案しました。

未来3035委員会からの計画は花束だけでなく、休耕田にレンゲの種子を撒き、幼稚園児に摘んでもらい、それを葉や押し花にして、子供たちのメッセージを添えて、医療従事者に贈りましょと、私の想像を遥かに超えた、委員会からの素晴らしい提案には驚かされました。日赤の病院長や婦長さんたちから想像以上に感謝されました。

せせらぎ三島ロータリーの奉仕活動があるがままに、世の中に知らせてくれたのが、公共イメージ向上・IT・広報委員会とSNSを得意とする人達がHPやYouTubeに奉仕活動をアップしてくれました。デジタル時代は、待っていても何も来ない、自分の方から行かなければ何も進まない、ということを実践してくれました。SNSを見た各方面から、色々な反応と質問がありました。イメージアップ・広報とはこうあるべきであると教えて頂きました。

職業奉仕委員会は残念ながらコロナ禍で計画した事業が中止となりましたが、委員会は替わりに、生活介護事業所へおのすぎな班の作った手作りカレンダーの支援をしました。

班長さんが、直接お礼に伺いたいと、クラブを訪問してくれました。また市内の数十の障害者の施設を調べあげ、その中で見晴学園のトレットペーパーを会員や関係者に使って欲しいとお願いして、今でも、一定以上の成果を上げ、続けています。

国際奉仕委員会はロータリーの重点分野『水と衛生』を実現するために、カンボジアのシェムリアップ州のタブー小学校に井戸の設置をしました。このプロジェクトには現地NGO代表の内田さんやカンボジア領事館の田井さん、地元住民など約400名の協力者の力をお借りして、完成しました。この事業もSNSで紹介され、他クラブから、一緒にやりたい、グローバル補助金を使ったらどうか、と言われました。中村ガバナーマニーマーからは、完成贈呈式に行く時は地区に知らせて欲しい、「素晴らしい事業に同行して経験をしたいから、地区の事業

でもあるからという声があります」と言われております。ここまで評価されるようになったのは委員会の努力の賜物です。

小林年度では現地に行き加藤年度、米山年度で出来なかった、贈呈式の感動を実感して欲しい、と願っています。

コロナ禍で例会が不規則の中、今年度例会出席100%達成者が21名出ました。(61%)この凄い数字は出席委員会の工夫のおかげです。増強委員会は当クラブの活動報告や特徴など一目でわかる、リーフ、名刺を作成し半分の増強期間で成果を上げてくれました。声かけをしている人がまだ沢山いるそうです。次年度には大きな花が咲くことを期待しています。

地区方針の『奉仕活動こそ、会員増強の根源である』を実践してくれた増強委員会は、100点満点でした。

今年度の当クラブの要である幹事は、地区のDLIの研修リーダーをしながら、クラブ幹事の仕事も十二分にやり遂げてくれた、素晴らしい幹事でした。本当に感謝しています。

パスト会長には陰になり日向になり、お手伝い頂き、『伝統は革新することにより、引き継がれます、思い通りにやってください』との言葉を頂き、勇気を貰いました。

他にもいっぱいあります。

優秀な人が多く、素晴らしいクラブだと実感した1年でした。しかし、会長としては、不十分な点が多々ありました、ロータリーの友情に免じて、お許し頂きたい。

1年間の会長職で感じたロータリーの目指すところは、親睦と奉仕と高潔性そしてDEIの多様性、公平さ、インクルージョンですが、1番大切なことは、楽しくなければロータリーではない！です。

7月から始まる、小林年度はその1番大切な『楽しさ』を知り尽く実行できる年度です。みなさんの協力により多くの楽しさと、大きな成果を挙げることが出来ます。今年度以上に、次年度にみなさんの協力をお願いして、今年度最後の会長挨拶とさせていただきます。

1年間、ありがとうございました。

出 | 席 | 報 | 告 |

	出席総数	出席率	メイクアップ	修正出席率
前々回	30/32	93.75%	30/32	93.75%
今回	28/33	84.85%	会員総数	34名

欠 席 者

あなたが見えなくて残念でした。

篠木君、土屋(和)君、土屋(巧)君、矢岸君、山口(雅)君

(* 出席免除会員の欠席者 片野君)

サヨナラ例会



出席表彰

ホームクラブ100%

高村 勝則 仲原 実圭 山口 辰哉 米山 晴敏

一年間修正出席率100%

遠藤 修弘 大庭 靖貴 大村 典央 岡 良森
加藤 正幸 小林 勝 杉山 順一 鈴木 俊也
高橋 大輔 田村 康晃 中山 和雄 野村 諒子
服部 光弥 原 兄多 藤川 智徳 矢岸 貞夫
山田 定男 (敬称略)



スマイルボックス

米山晴敏君:皆様のご協力で務めを果たすことができました。1年間ありがとうございました。

仲原実圭君:米山会長、各委員の皆様、1年間ありがとうございました。大変貴重な経験をさせていただき感謝してます。

石井司人君:早期癌を発見(胃)して、7日に内視鏡で摘出したのですが、病理検査でもステージ1で再発転移の心配もないとガンセンターの主治医から言われたのですが、念のため胃の2/3を腹腔鏡(ラパロといふロボット)でopeに入りまし。ロボットが3か所から進入した時に動脈に損傷させたことで1500CCの出血、6時間のオペが13時間かかり「あやうし」あの世行きました。退院は4月3日でしたがやっと最終例会に間に合いました。もう大丈夫だと思います。

山口雅弘君:さよなら例会参加したかったのですが、月1回の東京での検診のため参加できません。申し訳ありません。

土屋巧君:会長・幹事、お疲れ様でした。サヨナラ例会まで欠席で申し訳ありません。

山本良一君:米山会長、仲原幹事、コロナの中で1年間お疲れ様でした。

岡良森君:米山会長、仲原幹事、1年間お疲れ様でした。

石井和郎君:米山会長、仲原幹事、1年間ご苦労様でした。

大庭靖貴君:米山会長、仲原幹事、1年間お疲れ様でした。